

楽しく男女共同参画を学んでみませんか？

本市は、「男女共同参画まちづくり条例」を制定して、性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、心豊かに生きることができるまちづくりに取り組んでいます。

その一環として講演会を実施します。市民の皆さんの参加をお待ちしています。



- と き 6月22日(火)
午前9時40分から2時間程度
 - と ころ 御代志市民センター講堂
 - 講 師 NPO法人ワークライフバランス共議会議事長 塚本 薫さん
 - 演 題 「男女共同参画がとりもつあなたとわたし
～世代間ギャップを超えて～」
- ※高齢者対象の教養講座「ことぶき大学」と共催です。
※託児・手話通訳あり
託児は1歳から就学前の幼児で、先着10人です。
6月18日(金)までに電話でお申し込みください。

問い合わせ先 総務課 総務・男女共同参画班(合志庁舎) ☎248-1112

男女共同参画社会づくり 地域リーダー研修生募集

男女が個性と能力を発揮できる社会づくりに向け、
あなたも地域で活躍してみませんか？

- 主な内容
 - 事前研修 9月28日(火)
基礎的な知識を学びます。
 - 先進地研修 11月11日(木)～14日(日)
東京都および埼玉県
 - 事後研修 平成23年1月中
- 募集締切 6月30日(水)まで
- 募集対象
県内在住の20歳以上65歳未満の男女で、全研修に意欲を持って参加できる人
- 募集人員 県内で20人
- 応募方法
参加申込書に必要事項を記入し、市役所の総務課 総務・男女共同参画班(合志庁舎)に提出。
参加申込書は、市役所総務課のほか、くまもと県民交流館、各地域振興局、県庁4階男女参画・協働推進課にあります。また、くまもと県民交流館のホームページからもダウンロードできます。

- 発 表 選考後、7月に通知
 - 費 用
参加費用(8万円程度)のうち、旅費相当額の3分の1を県が負担します。また、市民には市が残りの研修費用を一部補助します。(報告書などの提出あり)
- ※研修後「男女共同参画社会づくり地域リーダー」に認定され、男女共同参画社会づくりの推進役として、県と連携をとりながら地域や職場で活躍していただくことになります。



熊本県男女共同参画センター(くまもと県民交流館パレア内) ☎355-1187
ホームページアドレス <http://www.parea.pref.kumamoto.jp>

市役所 総務課 総務・男女共同参画班(合志庁舎) ☎248-1112



人権教育シリーズ⑤

市では人権教育の推進のため、さまざまな活動や啓発に取り組んでいます。ここでは、取り組みの内容や情報を定期的にお知らせしていきます。

子どもたちが元気になる教育の営みを目指して ～合志南小学校の取り組み～

「人間は、人のこと、遠くのことに対しては美しくいられる。美しい言葉を語ることもできる。でも、近くのこと、自分自身の問題となると、あれほど美しい言葉を語った人が見事に差別者になっていく。」これは、徳島県の学校の先生である森口建司さんの『峠を越えて』に出てくる一節です。

私たちは、差別や偏見に対して「いけない」という認識を持ちながらも、自分自身の問題となると前述に似た経験を持つようです。つらいとき、人はもっとつらい思いをしている人を探してしまいます。苦しいとき、人はもっと苦しいのどん底にいる人を思い、自分をなぐさめていくようです。

ある子どもが、「差別はいけないと知っている。でも、なぜか差別をしてしまう。だから、そんな自分を変えていき

たい。」と話してくれました。人権学習の取り組みの中で、子どもたちは自分の差別意識に気づき、豊かに育ちつつあると思います。そして、広く差別や偏見に対して、知識的な理解にとどまらず、自分自身の問題や課題であるという意識に高めていくことが大切だと言われています。

合志南小学校の人権学習は、①「なかまづくり」と「部落問題学習」②「各教科の学習」③「生活の中で起きる様々な問題」を大切な柱とし進めています。また、人権学習は、「自分のこととしてとらえていくこと」「自分自身を振り返ること」を基本にすえて進めています。

次の日記は、3年生の児童が書いたものです。上級生の姿を見て、元気をもらっています。

わたしもこんな人になりたいな

「バシャーン。」
と、わたしたちが多もくてき室から帰っていると、男の子がバケツの水を階だんでこぼしてしまって、わたしとみいちゃんがふいていると、5年生のおねえさんが、
「手つだってもいいですか。」
と言って、手つだってくれました。そして、その友だちの人二人も手つだってくれました。
そして、きれいになったあと、みいちゃんとわたしで、
「手つだってくれてありがとうございました。」
と言いました。
そして、いそいで体育に行きました。その行き道、みいちゃんと、
「わたしたちもあんな人になりたいね。」
と言いながら、うん動場へ向かいました。



人と人とのふれあいや温かな交流を大切に、子どもたちの心を育てていく取り組みを行なっています。

また、本校では、児童理解の時間を週1回設けています。子どもたちが元気に登校し、楽しく学校生活を送ることができるように、子どもたちの生活の様子などを出し合っています。全職員で、全部の子どもたちを育てていくという視点で、これまで続けられてきた取り組みです。今年度はさらに、子どもたちの姿から「どうしてこの子はこんなことをしたのかなあ？」と、子どもたちの行動のとらえ方

やこれからどのように関わり育てていくかを出し合います。全職員でなかまづくりの手だてについて話し合っています。

子どもたちのつまずきは、「学校のこと(学力・勉強・教師とのかかわり)」「家庭のこと(家庭環境・体や病気のこと)」「友だちのこと(友だち関係)」などが主です。そのつまずきに、教職員や子どもたち同士が気づき、一緒に考え、解決していきながら、一緒に成長し、共に元気になっていきたいと思っています。(合志南小学校)

次回は9月号に掲載予定です。